

2023年
8月

県内景況・確報

◎概況 **県内景況は、着実に回復しつつある。**

●2023年8月 おきぎん「カトレア」景況図●



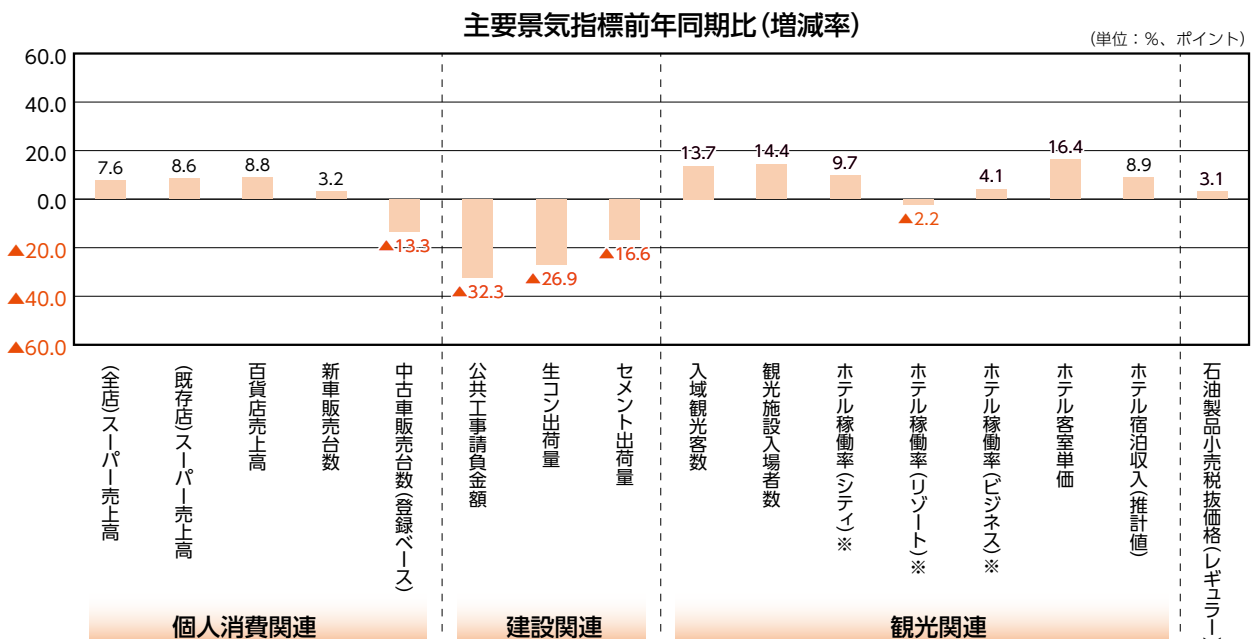
8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月上回りました。百貨店売上高は、前年同月上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月上回りました。中古車販売台数は、前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コンとセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルは前年同月上回り、リゾートホテルは前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入（推計値）においても前年同月上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも緩やかに回復しています。建設関連は、民間工事に持ち直しの動きがみられます。観光関連は、台風6号等の影響を受けるも、外国人観光客の増加などから着実に回復しつつあります。よって、**「県内景況は、着実に回復しつつある」**と景気判断を据え置きました。

(2023年3月の上方修正から6か月連続で判断維持)





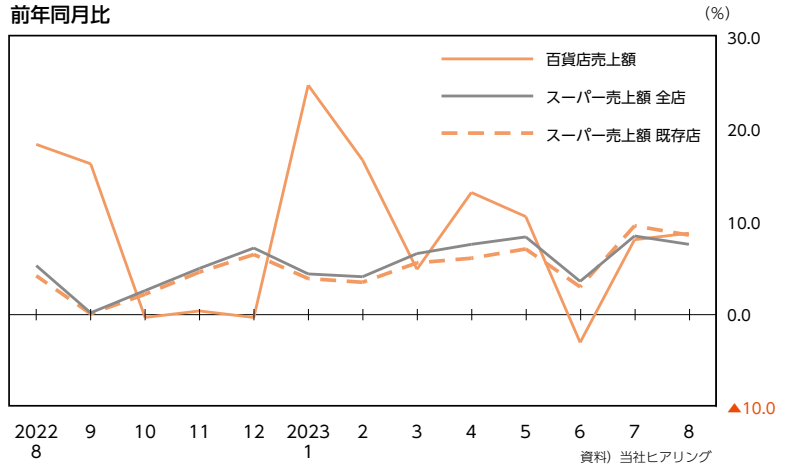
個人消費



(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

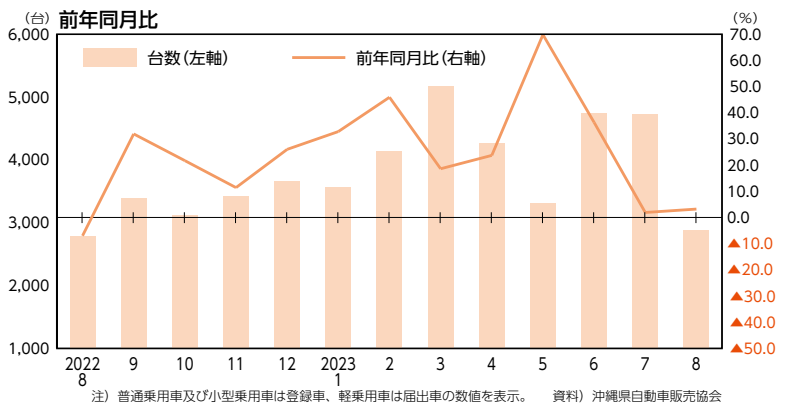
8月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比7.6%増）」は、15ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同8.7%増）」は、物価高による単価の上昇や旧盆関連商品の販売好調などにより、前年同月を上回りました。「衣料品（同1.3%増）」や、家電を含む「家庭用品（同4.5%増）」は台風接近に伴う店舗休業の影響などがあったものの、前年同月を上回りました。「既存店ベース（同8.6%増）」は、15ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同9.5%増）」は、物価上昇の影響、天候要因などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同2.5%増）」、「家庭用品（同6.5%増）」は来客数の増加や季節商品の好調などにより前年同月を上回りました。



(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、10.5%増となりました。
百貨店売上高は、台風の影響による休業や商品の入荷遅れ等があったものの観光客などの来店客数の増加や季節商材の好調等により前年同月を上回りました（同8.8%増）。品目別では、「食料品（同29.3%増）」はお中元関連商品の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同0.6%減）」、「身廻品（同18.4%減）」、「雑貨（同2.7%減）」は、インバウンド含む観光客の需要が好調だったが、台風による休業が影響し、前年同月を下回りました。全体としては2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

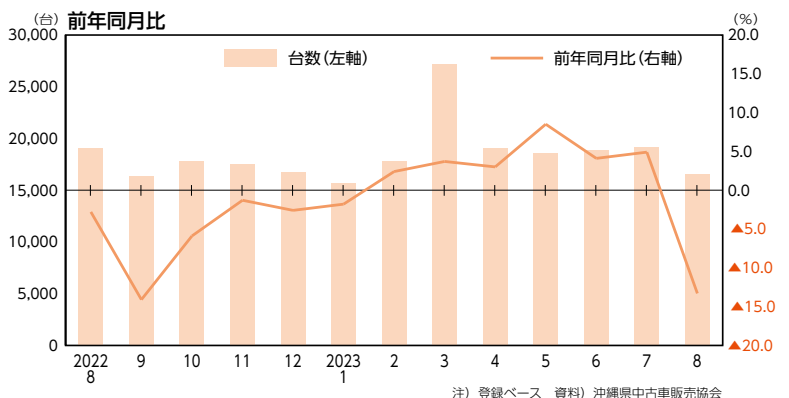
② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で2,875台（同3.2%増）となり、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同15.6%増）」、「軽乗用車（同16.1%増）」は供給制限の影響が改善しつつあることなどにより前年同月を上回りました。「小型自動車（同30.4%減）」は、前年同月を下回りました。
 (参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で26.9%減となりました。車種別では、普通乗用車18.0%増、小型乗用車50.8%減、軽乗用車29.3%減となっています。



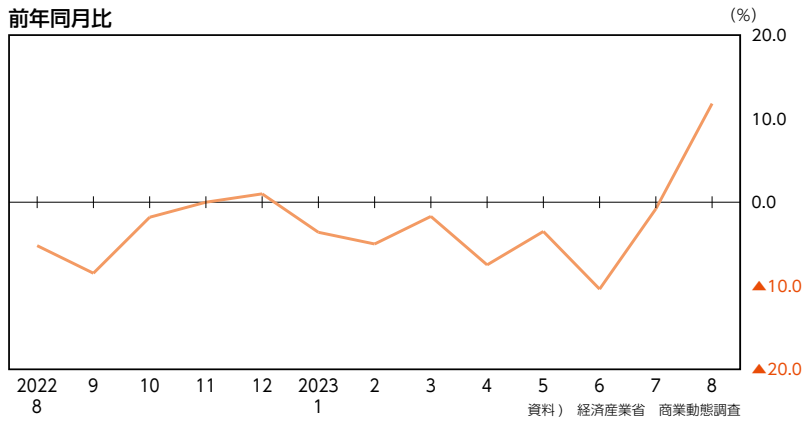
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で16,559台（同13.3%減）となり、7ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車（同11.4%減）」、「軽自動車（同14.5%減）」と前年同月を下回りました。
 (参考値) コロナ禍以前の2019年同月比は全体で11.3%減となり、車種別では乗用車9.3%減、軽自動車12.6%減となりました。



④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

8月の**大型家電専門店販売額**は前年同月を上回りました。



建設関連

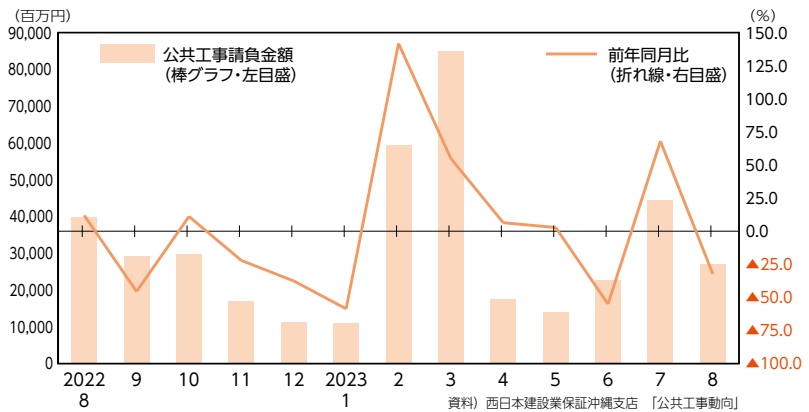


(ふつう)

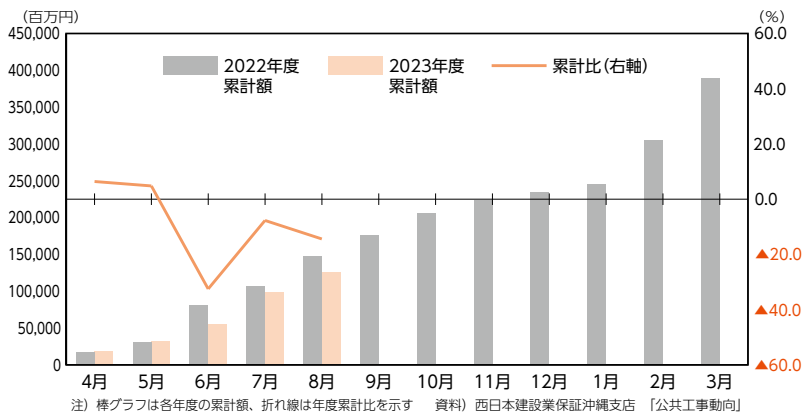
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

8月の**公共工事請負金額**は、前年同月比32.3%減の269億7,600万円となりました(2ヵ月ぶりに減)。

発注者別で見ると、「国(同57.6%減)」、「沖縄県(同14.7%減)」は前年同月を下回りました。一方、「市町村(同4.9%増)」、「その他の公共的団体(72.1%増)」、「独立行政法人等(同11.3倍)」は前年同月を上回りました。



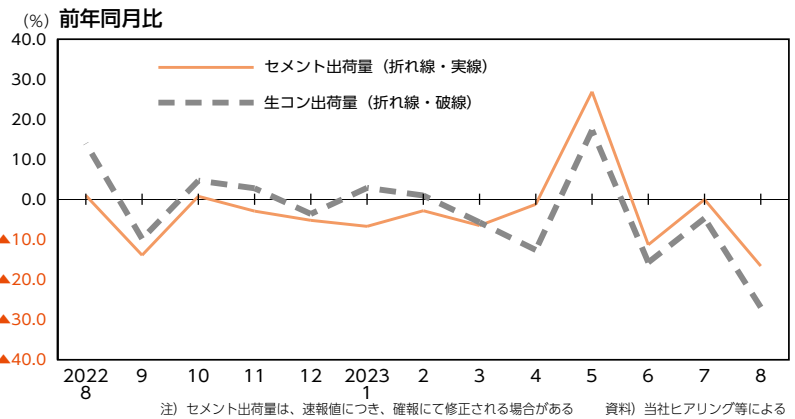
【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を下回る。





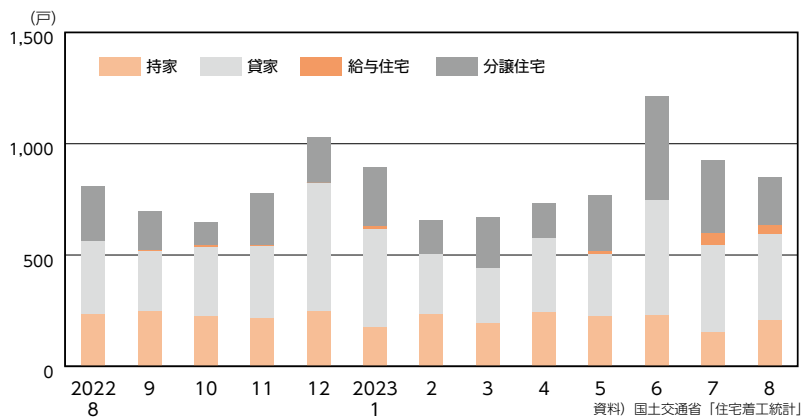
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は26.9%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは石垣での出荷が減少したことなどから前年同月を21.0%下回り、民間工事向けは中南部での出荷が減少したことなどから前年同月を29.9%下回りました。セメント出荷量は16.6%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。



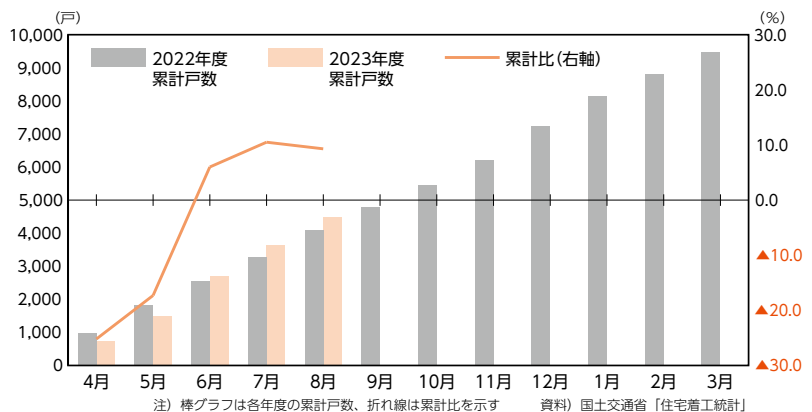
③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

8月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比4.6%増の847戸となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同18.6%増)」、「給与住宅(同40倍)」は前年同月を上回りました。一方、「分譲住宅(同14.5%増)」、「持家(同11.6%減)」は前年同月を下回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を上回る。

今年度累計値では、9.3%増となっています。

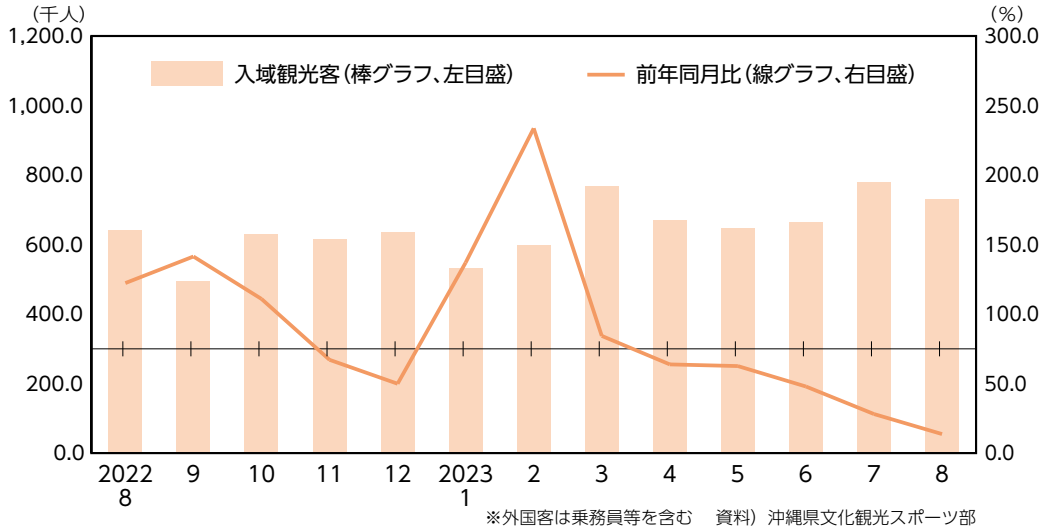


観光関連

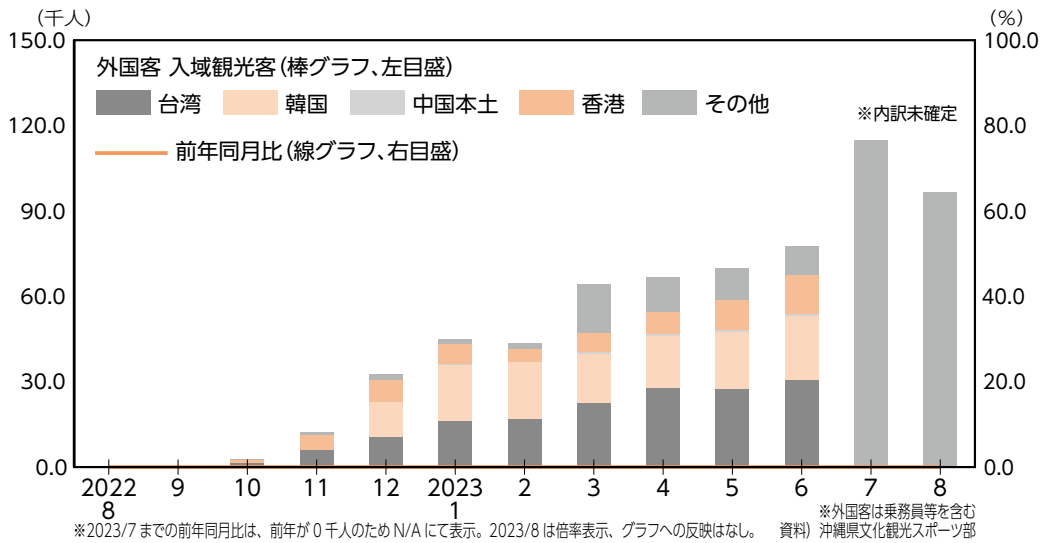


(ふつう)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…前年同月を上回る (96,400人となる)。



8月の入域観光客数は、87,800人多い728,600人(前年同月比13.7%増)となり、21ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、国内客で見ると上旬に長期間沖縄近海に留まった台風6号で、航空便が約2千便欠航した影響などにより、8,500人少ない632,200人(前年同月比1.3%減)となりました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、292,600人減少(28.7%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、106,100人減少(14.4%減)となっています。

外国客入域観光客数は、96,400人(964倍)となりました(空路71,600人、海路24,800人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

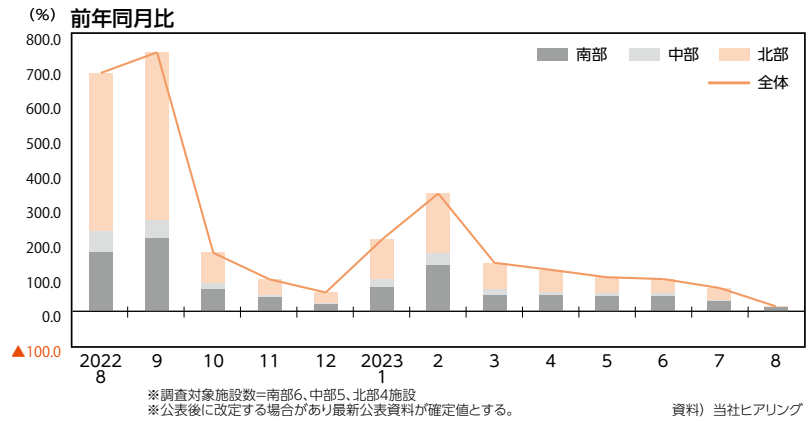


② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

8月の観光施設入場者数は、台風6号の影響を受けたものの、外国人観光客の増加などにより観光施設需要が回復しつつあることから、全体では14.4%増となり17ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は5.5%増、南部は40.3%増、中部は1.3%減となりました。

(参考)2019年同月比では、台風6号

の影響に伴う長期間の閉園などにより全体で47.8%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は42.4%の減少、南部は53.3%の減少、中部は56.0%の減少となっています。

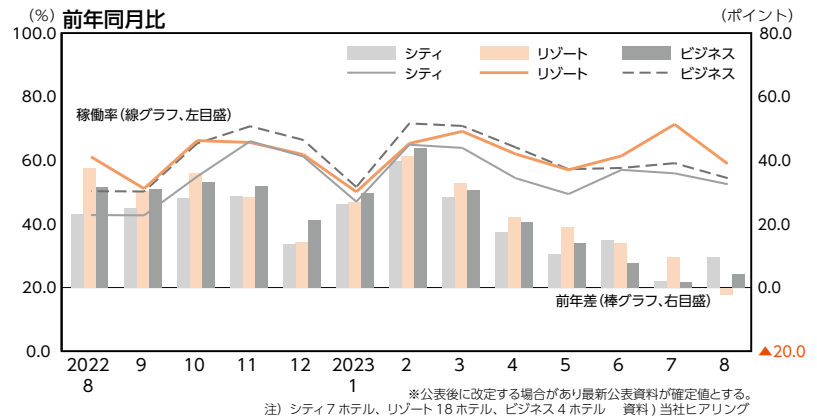


③ ホテル稼働率…シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは前年同月を下回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比9.7ポイント増加、リゾートホテルは2.2ポイント減少、ビジネスホテルは4.1ポイント増加しました。一方、台風6号等の影響により、延泊はあったもののキャンセルが多く発生し、稼働率は低下しました。

(参考)2019年同月比では、シティホテルは25.6ポイントの減少、

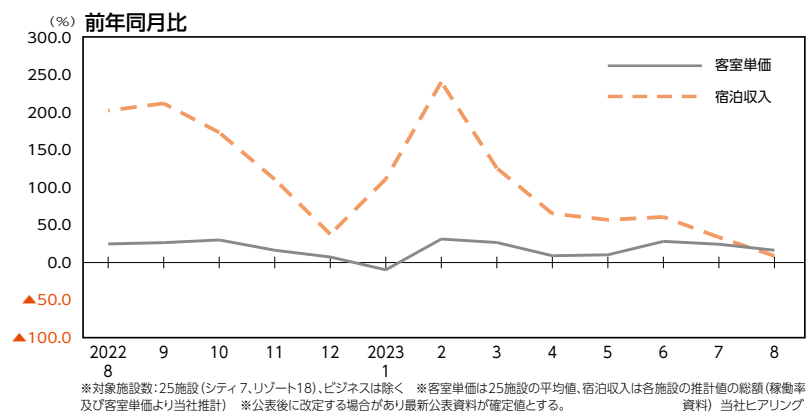
リゾートホテルは23.0ポイントの減少、ビジネスホテルは22.7ポイントの減少となっています。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は16.4%増と7ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においては8.9%増と21ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は4.0%の増加、客室収入は24.7%の減少となっています。





企業倒産

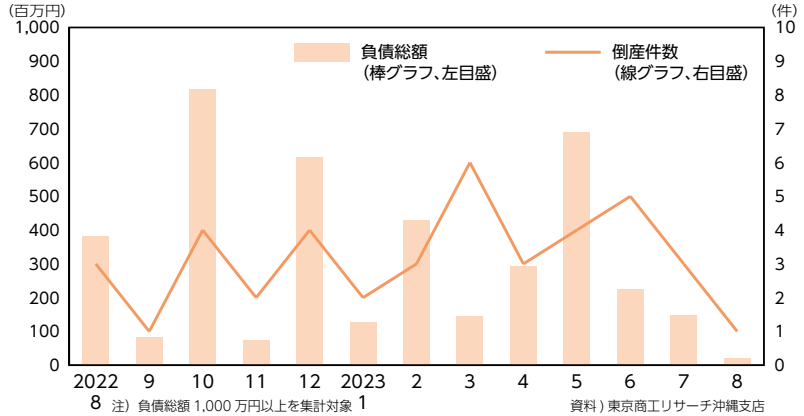


(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

8月の企業倒産件数は1件（うち大口倒産は発生なし）となり、前年同月より66.7%下回りました。

負債総額は2,000万円となり、前年同月より94.8%下回りました。



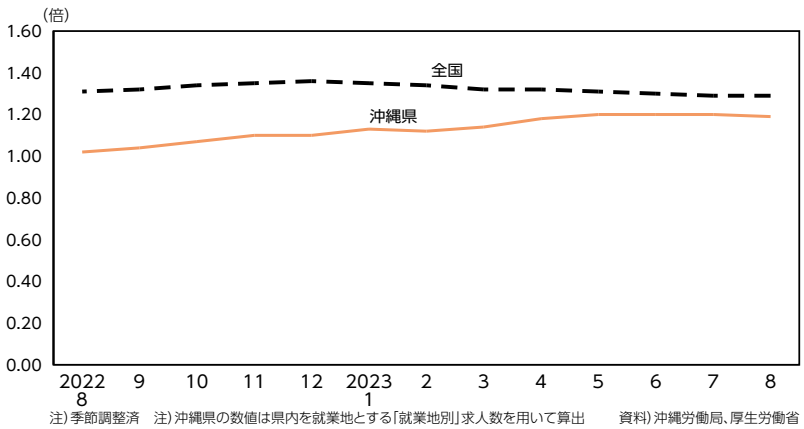
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄は前月より低下、全国は同水準。

8月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比3.1%減の33,771人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比2.2%減の28,321人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.19倍と、前月より0.01ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

8月の完全失業率（季節調整値）は、4.0%となり前月より1.5ポイント上昇しました。

